

平成15年10月～平成19年9月までの嵐山町・議会への評価は？

国の借金財政をやりくりする三位一体改革で、地方に負担増を押しつけられ、交替後の岩沢町政は、苦しい経営を強いられています。



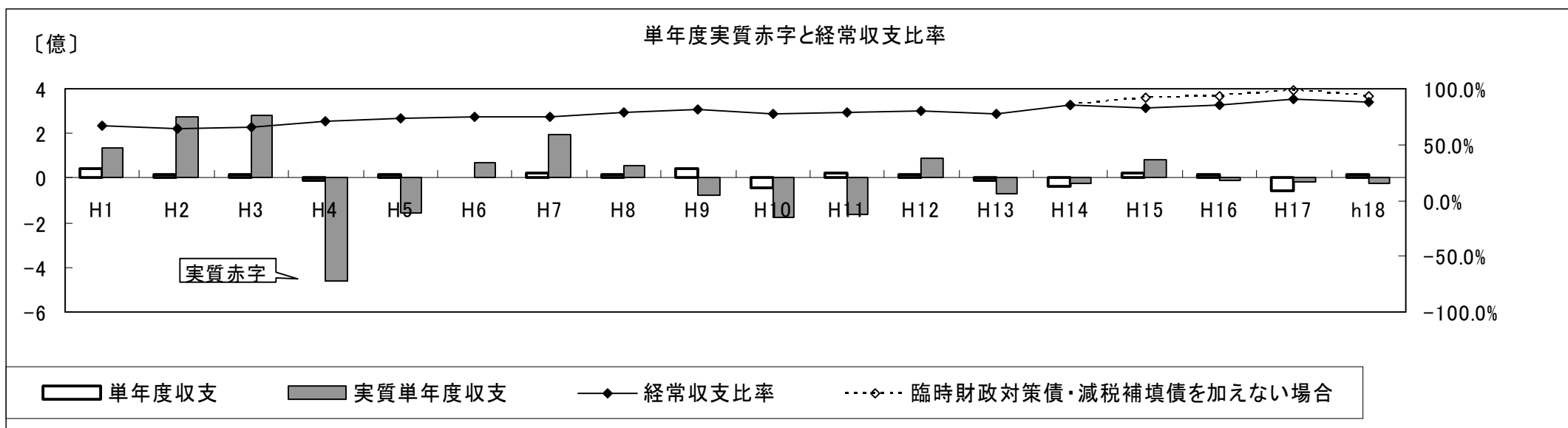
●国からの地方交付税が減り(H15年11億6千万円→H18年5億8千万円)、町税収(H15年26億4千万→H18年27億8千万)で、苦しくなっています。

◎配偶者扶養控除がなくなったため町民税は微増で、国民健康保険税・介護保険税の値上げ・公共施設使用料の徴収、人件費削減でやりくりです。

◎新しい事業は、借金で進めていかざるを得ない状況です。他力本願せず、町民福祉・公共福祉を優先して、健全な財政を目指す姿勢を議会がもてるかが重要です。


●右に夕張市財政と嵐山町を比較しました。夕張市議会が財政破綻を見抜けなかったのは、議員に知識と調査力がなかったからです。

◎町長や議員は選挙が必要なので、票獲得のためにも動きます。町の課題の優先順位をどうするか何か、皆さんも考えてください。

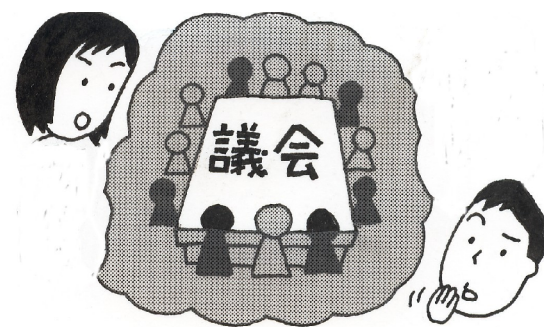


- 上のグラフの単年度収支は、次の年への実質繰越額です。
- 実質単年度収支は、単年度収支に、お金が無いときは、基金を取崩し、あるときは基金に積立て、まかなう実態です。
- 経常収支比率は、絶対に自治体が支出しなければならない費用の比率です。余裕があれば、新規事業ができます。平成17、18年と、100%に近く苦しい状況です。現状を国・県・町長・議員におまかせでは、不安です。

嵐山町の財政白書をつくろう
 10月27日[土][2時～5時]
 場所 中央公民館
 資料の準備のため、参加なさる方は、10月1日以降に、ご連絡ください・TEL 渋谷 62-7997
 私も勉強し、皆さんと一緒に町の財政白書を作ります。
 どうぞ、よろしくお願いします。



今、議会改革が重要です。



- 今期、修正予算を2度提案。平成17年度海洋センタープール休止、博物誌編纂の休止、敬老会の廃止を復活させる予算の修正案です。否決でしたが、18年度予算でプールと博物誌の予算が復活です。
- 今まで、町の基本計画を議会は審議しませんでした。次の基本計画から議会審議することを議決しました。
- 議員が行政に質問するのではなく、議員が議論する議会に変革する必要があります。町の課題の優先順位、個々の予算の適否を総合的に協議して進める必要があります。
- それには、議員の政治姿勢が大切です。政治倫理条例は、議会運営委員会原案を、否決し、現職議員に都合のよい条例に修正した条例を可決しました。残念です。
- 議員が何をしているか、町を健全にするため、みなさんに注視してほしいのです。

		夕張市	嵐山町
実質収支比率 (マイナスは赤字)	H16	0.0%	5.7%
	H17	-37.8%	4.3%
起債制限比率 (事実上の借金返済額の割合)	H16	17.0%	8.5%
	H17	26.8%	9.6%
実質公債費比率(他の会計の借金も総合した比率)	H17	28.6%	12.4%
※歳入のうち、諸収入比率(破綻原因)	H16	51.5%	1.1%
	H17	17.9%	1.2%
※歳出の「投資・出資・貸出金比率」(夕張破綻の原因)	H16	47.9%	0
	H17	21.3%	—
歳出の一時借入金利息	H16	0.3%	0
	H17	1.1%	—
経常収支比率(自治体のエンゲル係数)	H16	116.3%	85.4%
	H17	126.0%	93.4%
下段、臨時財政対策債などを含まない場合	H16	125.6%	91.1%
	H17	134.2%	98.2%
財政力指数(1以上は国の交付税なし)	H16	0.225	0.722
	H17	0.22	0.76
実質債務残高比率 = (借金-貯金) 市町村の標準収入	H16	375.7%	161.1%
	H17	412.0%	149.2%
1人あたりの積立金	H16	4400円	16580円
	H17	7200円	18500円

※夕張市は第3セクターの会計に出し入れし、借金が、予算書の数字では見えにくくしていたと聞きます。